



“市民と協働によるまちづくり”についてアドバイスする平嶋孝先生。建設部門の技術士で、博士でもあります。専門領域は、地域振興、公園緑地、観光施設等の建設から管理運営、市民協働に関するものまで実績多数。天草町では、子守唄公園やお万ヶ池公園の設計なども。現在は、熊本県立大学で非常勤講師も勤められています。



平嶋先生に質問する西嶋隆明地域づくり部会長。

下田南地区が 注目 されています!

下田南地区振興会だより
会報 小田床

■発行 第17号■
【発行責任者】
下田南地区振興会
会長 上野寛利
【連絡先】
下田南公民館
42-3612

2月16日(火)、高浜公民館で天草町まちづくり講演会が開催されました。山口支所長の挨拶の中で、「下田南地区振興会活動は天草市のなかでもとびぬけており、他から多くの研修がきているはずです。」との紹介がありました。また講師の平嶋先生からは、「このままでは、どこの地域もふるさとがなくなる危機に遭遇している。これを打開する唯一の方法は、行政に頼らず自分たちで立ち上がる以外はない。すでに下田南地区はそれを実行してい

る。どこの地域も下田南地区のやり方を真似し、大きくひろげるべきです。」と、何回も下田南地区の事例をだされました。

「天草ふるさと家族便」の反響は大きく、他地区からの研修、講演依頼が多くあります。1月には倉岳2月には河浦の研修を受け入れ、また、本渡では100名余りを集め西嶋隆明地域づくり部会長が講演しました。みなさんの質問も多く、強い関心を肌で感じました。

自分たちの手で仕事の場を創出し、生活の基盤を築き上げ、後世に健全で豊かなふるさとを残していくことと立ち上がった有志の方々が、未来を信じ、歯をくいしばり、頑張りの続けたことが多くの人たちに感銘を与えています。

そして地元の皆様の応援で、昨年



1月18日に倉岳まちづくり協議会の皆さんが研修にいられました。西嶋隆明地域づくり部会長が講師となり、「天草ふるさと家族便」について説明しました。

の12月には目標であった100件を上回る「天草ふるさと家族便」を送ることができました。小田床が伝統的にもっているチャレンジの精神と、裏面目な姿勢に裏付けられた粘りが底力となって、地域の力を発揮しています。また、「天草ふるさと家族便」に続き、現在、堆肥事業・天草ブルーガーデンの管理運営事業にも取り組んでいます。

これからも困難は予想されますが、地域の皆さんの力があれば、壁を乗り越えられると確信しています。私たちにすばらしいふるさとを残してくれたご先祖や先輩に恥じないよう「健全で豊かなふるさと」を後世に残していく努力が、今を生きている私たちに課せられた大きな役割ではないでしょうか。



2月9日には、河浦まちづくり協議会の皆さんが研修にいられました。

ブルーガーデンが生まれ変わります

今年4月より、ブルーガーデンを下田南地区振興会で運営します。

昨年暮れ、市の指定管理公募に3団体が名乗りをあげ、選定審査により下田南地区振興会が選ばれました。

運営の目的は、天草ふるさと家族便と同様、“自分たちの手で仕事の間を創出し、生活基盤を安定させ、後世に健全で豊かなふるさとを残していく”ことで、そのための事業の一



↑3月7日（日）西平椿公園にて。あったか天草椿まつりが開催され、ブルーガーデンのPRを敢行してきました！（ブルーガーデン販促班）ホームページでもご覧になれます！←原材料費 2,500 円程度の手作り立て看板。4月22日新規開店です！



環境として取り組むこととなりました。下田北から高浜までの区間で、観光客が食事をする場所がないため、食事を提供します。地元産の魚、野菜、加工品を食材とし、地元の味を観光客に楽しんでもらいます。それにより地元の生産者の供給を増やし、かつ雇用を生み出します。また、おみやげ品も地元産にこだわりの、特色をだし



ていきます。現在、高浜地区、下田北地区からの協力者を得て、18名の運営員がそれぞれの役割を分担しながら4月22日（木）のオープンに向け、着々と準備を進めています。

トンネル開通による迂回など、見通しは順風満帆ではありませんが、「成功の反対は失敗ではなくチャレンジしないこと」と考え、知恵を出し合い、最後まであきらめない不屈の精神で成功を掴みます。

地域の象徴であったあまくさ荘は、すでに取り壊されました。日本の「太陽百選」の地に建てられたこの建物を、すばらしい地域の宝物として、みなさんと共に守っていくつもりはありませんか。【西嶋隆明】



夕陽と天草ブルーガーデン。すばらしいロケーションですね！ここで早くお食事したいっ！！

堆肥づくり始まる！

下田南地区振興会では、地域の環境美化と資源のリサイクルを推進するために、宝くじ助成事業で購入しました飼肥料製造機械を活用して、堆肥づくりを始めています。先に協力隊員の募集を行いました。現在8名の隊員が毎週火曜日にダテグや落ち葉などを粉碎して、モミガラなどと混ぜて醗酵槽に詰める作業を行っております。すばらしい醗酵堆肥ができておりますので、これから、春の花づくりや有機野菜の栽培などに活用していただけたら幸いです。



必要な方は下田南地区振興会事務局（下田南公民館内）までお知らせ下さい。

下田南公民館 電話42-3612

堆肥製造機に粉碎した原料を入れていきます。良質の堆肥を次々と製造中です！

【上野寛利】